

投資に役立つ

経済ワード

Vol.4

経常収支

経常収支とは、①貿易収支、②サービス収支、③第一次所得収支、④第二次所得収支の合計で、海外から受取る「収入」と海外へ支払う「支出」の差です。

収入が支出を上回れば経常黒字、下回れば赤字となります。



経常赤字を抱える国の貿易事情

米国では長きにわたり経常赤字が続いており、大部分を貿易赤字が占めています。80年代中頃までの貿易赤字拡大の背景には、日本からの自動車や電気機器等の輸入が盛んだったことがあります。その後は、米企業の生産拠点の海外移転や、安価な海外製品の台頭などにより、中国、EU、メキシコからの輸入が増加しました。

2018年11月に中間選挙を控え、国内にアピールしたいトランプ米大統領は、貿易赤字を問題視し、「輸入品に対し関税を課すことで、国内商品を売れやすくする」という保護主義的な政策を示しました。足元では対中国の貿易赤字が全体の半分近くを占めることから、中国への圧力を強めています。

一方、新興国でも経常赤字である国が多くあります。国内のインフラや産業が未発達であることなどから、個人や家庭で使用する目的の製品（消費財）、それを作るための機械や設備など（資本財）を輸入に頼らざるを得ないためです。また、先進国に比べてエネルギー効率が悪いため、産油国でない新興国はエネルギーの輸入額も多くなり、原油価格が上昇すると赤字幅が拡大しやすくなります。

変わりゆく日本の経常収支構造

経常収支は右記の4つから構成されています。日本はかつて輸出大国と呼ばれ、貿易黒字が経常黒字のけん引役となっていました。製造業が海外現地生産を増やしたことで、貿易黒字は減少しました。しかし、海外子会社からの配当の受取りなどが増加し、現在は第一次所得収支がけん引役となっています。

また、訪日外国人観光客の増加からサービス収支赤字は縮小しました。一方、第二次所得収支は、開発途上国への資金援助が多いことから赤字が続いています。

経常収支

① 貿易収支 (モノの取引)	+ 輸出額 - 輸入額
② サービス収支 (サービスの取引)	+ 訪日外国人観光客からの宿泊費等の受取り - 日本人海外観光客の宿泊費等の支払い など
③ 第一次所得収支 (利子・配当等の支払い)	+ 外国債券の利子、海外企業からの配当等の受取り - 日本から海外への利子・配当等の支払い など
④ 第二次所得収支 (海外送金)	+ 海外で働く日本人からの日本への送金 - 開発途上国への資金援助 など

上記は経常収支の全てを説明するものではありません。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。